



古今鑑畫

心秋像鑑秋

七



長濃物

丸大御守巻

行満

丸小御守巻
中三つおごり

孫三内りの御守巻

濃州住魚吉

康三年中のうら

○濃州住葦原國長作

角三つお肉の御守

康三年二月日

未飯

个午院

角三つお肉の御守

おきよ平様丸巻の
平様

魚友

角三つお肉の御守

濃州住魚友

康三年中

角

千子院 道下

梅角ノ内ワリ新中並遠 長享二年二月日

長下ノ末ノワリ

魚光 ○ 八月日

梅角ノ内ワリ新中並遠

王光 ○

圓の初

濃州住魚吉

只兼吉ノ汁ニ打也

慶長元年六月日

魚代 ○ 角ノ丸

魚代 ○ 角ノ丸 肉ワリ

角ノ丸新中下

略金 ○ 王光 ○ 肉ワリ

梅角ノ内ワリ新中並遠

梅角ノ内ワリ新中下

○ 國長 ○ 角 ○ 金 ○ 重 ○ 角

角ノ丸新中並遠

○ 金重 ○ 角

金重 ○

金重子

○ 金行

祖父

○ 主母令

角ノ内ワリ新中並遠 作ノ折ノ切不金

達才象

○正光
角

角三ノ新

○壽命

七回分

金重

極意

壽命

角

持角三ノ小肉新五蓋

壽命

西新
任父

備前物

くら巴分けようの敷十六表の紐乃下は之に故名難流此は作と之



○○○

角三ノ小肉新

○備前長船守安
角

貞治三年二月日

三原丸

景依

角三ノ新

三原丸

景依造
○○○

角三ノ新

備前長船住重真

角三ノ新

貞治三年二月日

角

角ニ小肉あり新白

○ 巳次

大和文殊堂印にあり

角

備州長船光弘 ○

角ニ新白

角ニ新白

永享三年二月日

○ ○ 備州長船光弘 角

○ ○ 備州長船助久 切

貞治三年四月日

新作

○ 真高

角

角ニ小肉あり新白

角ニ小肉あり新白

延永三年七月四日 盛

付新白

新作

遠近 ○

角ニ新白目黄穴の上下にあり

二細和知父

助久 ○ ○

角ニ新白

新作

吉信 ○

角ニ小肉あり新白

新作

○ 利恒

角ニ新白小肉あり新白

切

和

長船吉元○○○○

角ニメ内ニテ新造

吉元○

角ニメ内ニテ新造

新造上

備前國長船住近景○

角ニメ新日 元弘二年三月日

保弘造

○

角ニメ内ニテ新造

助吉○

一文字助則子孫角ニメ内ニテ新造

○○助吉

角ニメ新日

角

備前國長船義光

角ニメ新日

角

備前國長船左兵衛大夫立藤原義光

角ニメ新日 延文元年丙九月日

角

五徳の御名

〇〇
夏經

〇助角

角ニテ新出遊

垣真〇〇

角ニテ肉わり新出遊

倫前国住則次

〇
正和七年三月日

倫前長船守政

角ニテ新出遊

永享六年三月日

国宗

角ニテ新出

国宗

角ニテ肉わり新出下

国宗

角ニテ新出下肉わり

大節末方

小肉

海老

日

海老
徳あり

○ 国宗

角ニメ折曰

伯着の中曰名あり

国宗

角ニメ小肉あり折出透体方ニ印子政宗はたけおしと云

はくは

国宗

角ニメ折曰小肉

曰

倫前国長能住人国宗作

角ニメ折下

凡脚義先打之跨りゆは打也

一 ○ 倫列古口是住助美我

建武二年八月日 光徳三年三月日

新作

一 倫列吉兵住助茂

角ニメ折出透

貞和三年十月

助重

角ニメ小肉あり折下土月の暮らら火ぶらおの是てなは重の字成と云

一文字

助重作

角ニメ小肉あり折曰

角

角

三月高瀬法

正房作○

持丸板の平捺角ニメ肉ありしと云々

運ニ方作○

持丸板の平山形ノ平捺邊

○守恒

角ニメ平捺邊

○守吉

源

○穴久盛

角

○是助

捺角ニメ平捺

先助包々々

角ニメ
小肉と

姑

保方△

○○

切

角ニメ小肉と平捺下

正

促形

○○

角

角ニメ平捺

正形作

守未

○○

角

角ニメ平捺

角ニメ小肉と平捺

備前長船守未

えさの形像丸板の平山形

戸住ノ丸兵衛尉源吉氏

一備前○山石ノ庄地頭源吉氏

捺角ニメ平捺邊

元弘元年十一月日正申壬字ノ河内源氏ノ別也

○ 光助

採角ニ大採撲

助吉子

切

光助 ○ ○

助吉子

切

一

角ニ大肉あり採撲

正中一文字

○ ○

角ニ大肉あり採白

永仁三年六月日

○ 縄

角ニ大肉あり採撲下

角

侖前囚包平

角ニ大肉あり採撲若高ニ紐ニ長クハ幅ニ差落ト親の上あり

長則

採撲

○ ○

永仁六年六月日

長則 採撲

長則

角ニ大採撲

号小採下

長

長見 ○

角ノノ新直透

角ノノ小肉ノ新直透

○ ○ 國吉

物面

〃

角ノノ新直透

○ ○ 國吉

角

備中物

角ノノ新直透

備申國一乃毒好 ○ 座住左兵米尉恒次

文保三年三月日

角

角ノノ新直透

訖次 ○

角ノノ新直透

○ 助次

恒次 ○

座住左兵米尉恒次

角ノノ新直透

次忠 ○

角

切

○恒次

角ニメ新巻

一○垣次

○恒清

角ニメ新巻

徳平正恒子

角ニメ新巻

○助次

切

恒

○白次

切

角ニメ新巻

是ハ恒の貞次より多ク恒

角ニメ新巻

○恒中国住長次作

角

○次忠

大永十年十一月

恒角ニメ肉カリ新巻

○家恒

切

○行次

切

○恒中国住家次作 應女七年八月日

角二ノ新撰下

○床次

角二ノ新撰下

康永元年ノ打ノ玉

○次吉

切

○常土迹

角二ノ新撰下

角二ノ新撰下

角二ノ新撰下

倫中國住次吉

切

倫中國の住次吉

角

角二ノ新撰下

建武二年十月日

元弘三年九月日

○助次

切

○貞景

角二ノ新撰下

角二ノ新撰下

故

倫中國住次吉

○

貞和二年二月日

角

角二ノ新撰下

○中國住次吉

延文三年八月日

倫中國住次吉

○

曆應三年十月日

角二ノ新撰下

六月書船治く
返る也

つらつらくつらつら

恒次 ○ ○

角ニメ肉あり 折模下号 石をわき

角ニメ折るく

折作入

○ 吉次

角ニメ折垂垂

折作入

○ 秀次

角ニメ折垂垂

折作入

○ 秀次

角ニメ肉あり 折模下

○ 右白次上

一名多蒙目貴元のり 真次と打し 折は表裏垂垂 折の折像 角ニメ肉あり 折は下
折は下と模下より 垂垂と云く 之は折像 折は下 折模下 折は下 折は下 折は下
角ニメ肉あり 折模下 折は下 折は下 折は下 折は下 折は下 折は下 折は下 折は下

倫中国住次吉作 ○

文和五年二月日

角ニメ肉あり 折中垂垂

倫中国 ○ 住 ○ 録 ○ 門 ○ 太郎 ○ 子 ○ 貞 ○ 次 ○ 作

角ニメ折日

嘉慶三年六月日

○

朝次

角ニ大歯あり新蓋ニ様下

永承三年二月廿

備中國住人在兵米尉直次作

○

切

角ニ大新ひり同

一級原物備物有るに備中國住人今之也

近次

○ ○ ○

切

○ 茂次

角

角ニ大歯あり新く

角ニ新蓋

○ 女次

切

角ニ大新日

守垣

切

○ 備州住親次

角ニ大新日

角ニ大新日

貞和三年二月日

○ ○ ○

弘政

切

重次 ○

角ニメテ作ル也

宗遠 ○

角ニメテ作ル也

○俊次

角ニメテ作ル也

三河物

棟角ニメテ肉ヲ切リテ作ル也

三刈 ○ 住 ○ 国 廻

まきまき

角ニメテ肉ヲ切リテ作ル也

○ 某王寺 吉十

切

まきまき

棟角ニメテ肉ヲ切リテ作ル也

角

○ 空 次

官次後

奥刈物

付出物

奥易位

母紙ニシテ位ヲ作シテ入ル実ニキ

○ 生 伴

○ 奥刈 舞草 支 長

棟瓦板ノ平棟ニメテ肉ヲ切リテ作ル也

切

めいあふよりかんどみとま

噴

○月山

切

○生佛

角ニメ肉わり新

角ニメ肉わり新

新換下も上仕とて敷二成る是の趣
はいるをさうらうとありては月山とて
敷二成の新換下行安とて候ありて
有る

此紙紙

○寶貞寺

角ニメ肉わり新

○寶吉寺

角ニメ肉わり新

角ニメ肉わり新

此紙紙

鬼王丸

角ニメ肉わり新 月山とて新換下

越前物

○寶見寺

角

此紙紙と新換下候人々殊々
云々候は候は候は候と云候あり

角ニメ肉わり新

○越州敦賀住盛重作

角

角ニメ肉わり新

角ニメ肉わり新

親 守弘

千代紙

千代紙

木林方

角ニメ肉わり新

木林方

千代紙

○越州守重

國宗子

近前田住上非村來宗光

角ニメ肉わり並蓋

慶長五年十一月廿五日

同

近前田住左兵衛尉來宗光

角ニメ肉わり并同

一丁長三年十二月廿五日

加賀物

角ニメ并同

○ 行光

角

布多

○ 行光

角ニメ并並蓋

角ニメ并並蓋

行光

角ニメ并同

加州 ○ 藤原家政

角ニメ并同

○ 加賀州住美原真景

一丁長十年八月日

角ニメ并換下

真景子

○ 加賀川住目東光

但文

○ 藤嶋友重

角ニメ并並蓋

角ニメ并並蓋

○ 藤嶋

○ 藤嶋友重

角ニメ并並蓋

越中物

○ 下 宇

角ニメ肉わり并同

角

角

角

早之津

友次。

山符石

母信子

信長○○

角ニメ肉わりの新五毒

角ニメ新日

父

○義廣

松倉石

子

○義弘

角ニメ小肉わりの新五毒

そと六代

江

は越中松倉垣(義弘)新五毒は越中松倉垣に在り

吉廣

吉廣の妻の才子は越中松倉垣に在り

角ニメ新五毒

○則重

角

角ニメ新五毒下小肉わり

○重國

越中国○掃原郡御膳位佐作則重

角ニメ新五毒

越中必婦貞部御股位佐作

嘉慶三年七月日

常震の如くに打しむ打刀と云ふ

角ニメ新五毒

則重。

林の用わりの新五毒

越中必早五高は必早入る必早才子は越中(御膳)に在り
是より必早の才子は必早の才子に在り

角ニメ小肉わりの新五毒

角ニメ新日

必早則重子

○重國

角

○

角

正信作

角ニメ所遊遊

山狩ニ云々

信國ニ信五信

撰津物

○友氏

津の金
中時

○ ○ 京國長

角

は宮天までもりといふわろら開ニ依るるを物

源打志元祖

○ 父系

河内物

國任

後

包手作○

角ニメ肉わり所日

包平作○

角ニメ肉わり所換 平泰時伊豆十二人の日 基奉る方

吉氏

新作の目上

久奥ニあり

○ 包平

楳丸柄ニメ山形又角ニメ肉わりする所換下

角

肉メ角

そとハ外したる

廿七

紀伊物

角ニメ新日

上入麻景安貝

株角新日

入鹿○寶紙作

角ニメ新日

角親

入賀住友令美

子

○仲真

角ニメ肉わり新日

播磨物

國吉

○

角ニメ肉わり新日

肉わり

女頼

○

角ニメ新日

志まりの積守とま

切

女頼

○

角ニメ新日

長角圓くや

定重

○

○

切

男の格太むねに似たりなり少く之は信房少く物色あはけ似たりなりは少く包着物類人

用防物

祖父

清親

○

忠光親臥
先角

○二王正清

忠光親臥
刀路

清組 ○

梅角 大肉 下

親

角

二王 清長

梅角 大肉 遠新

孫

清組 ○ ○

梅角 大肉 遠新 山 今 念 心 人

角 大肉 之 領 之 地 二 五 三 元 能

○ 清真

角 大肉 下

○ 防州 月忠

角

○ 清組

角 大肉 之 領 之 地 二 五 三 元 能

防州 保清 春作

角

雲物

三 分 介

因 防 州

○ 清組

永則 ○

梅角 大肉 新 白

永享 八年 二月 日

角 大肉 白

○ 吉則

○ 不則

親

子

吉則 ○

梅角 大肉 遠 上 之 也

角

七 八

法

○正刻

棟角ニメ新日

○清刻

角メ新日

應永正三年八月日

石見物

多津佐

○夏細

角ニメ新日

○守刻

去真元 ○

石州長濱

○住人末繼

直細作

角ニメ新日

伯耆物

○直細作

切

小鴨匠人

○國宗

角ニメ中肉ヲ新日

為清 ○

角ニメ肉ヲ新日

西のり教評定元日

守家長元がくくは二是より直細作新日入り大和名方のく

女組

又種少並進もろこ

きぼ物

定秀

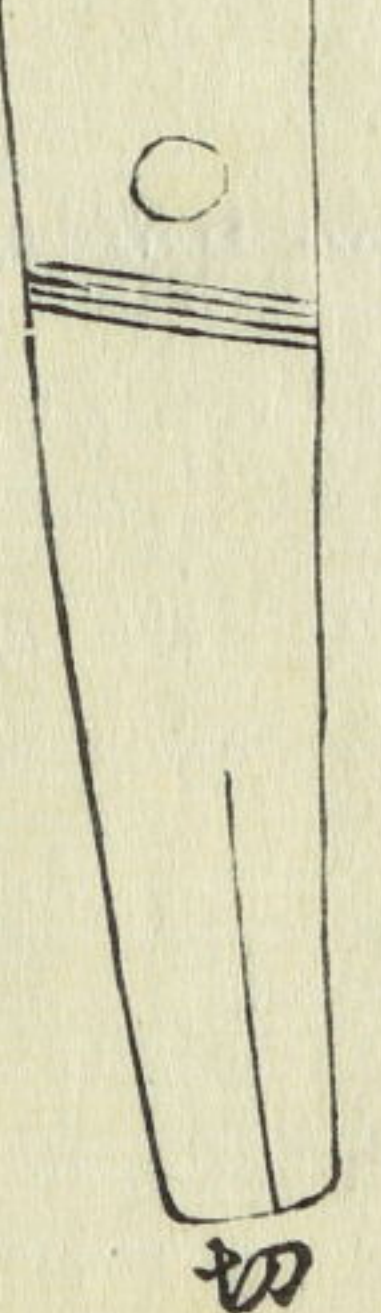
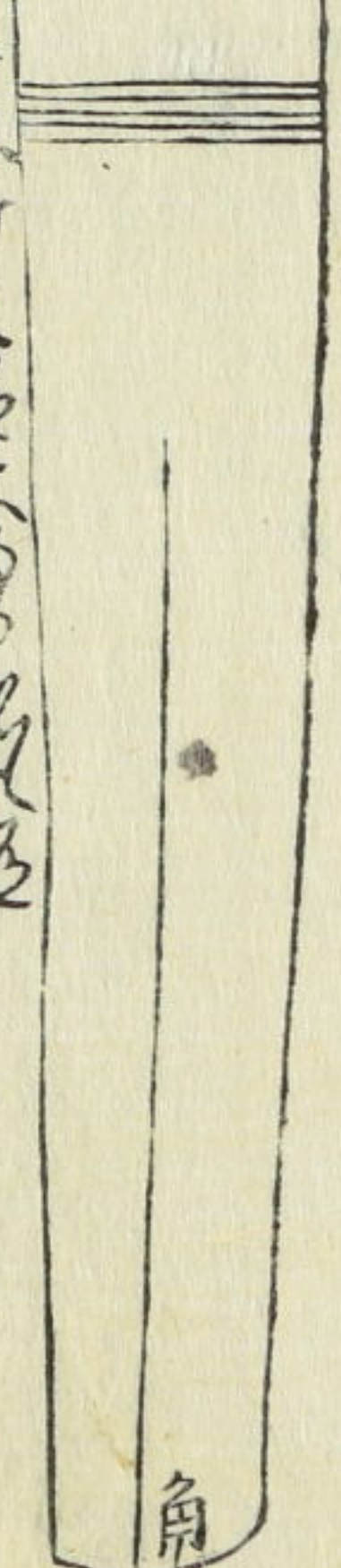
角ニ大肉を新日抜下ゆれり新打しるる大なる物なり

角ニ大肉を新日抜下ゆれり新打しるる大なる物なり

曲三後國行手作

角ニ大肉を新日

曲三後國行手作



角ニ小肉を極く

〇〇行手

えさ角く肉あり

角ニ大肉を新日

口角

角

西ゆれ

〇四組

角ニ大肉を新日抜下ゆれり新打しるる大なる物なり

四組

四組

はたひか令四組を人の角

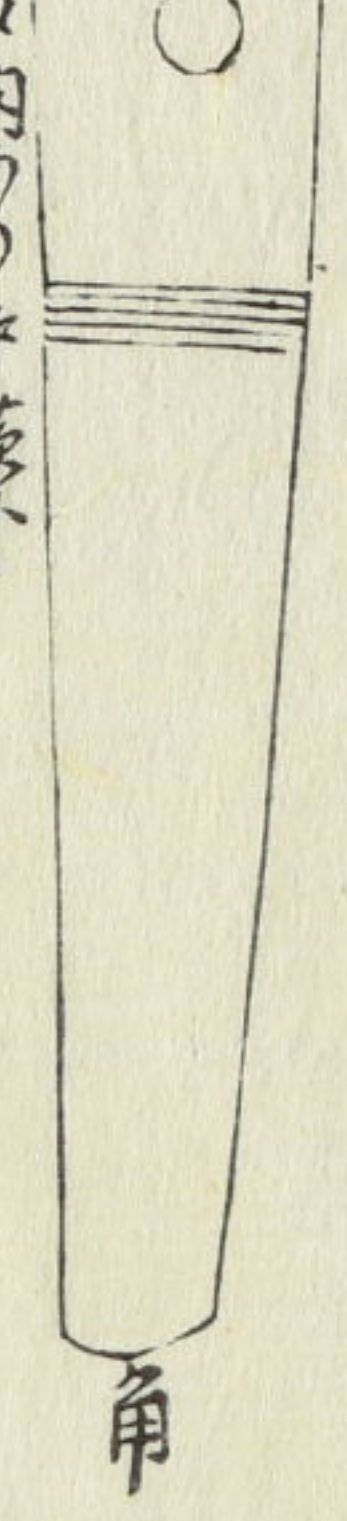
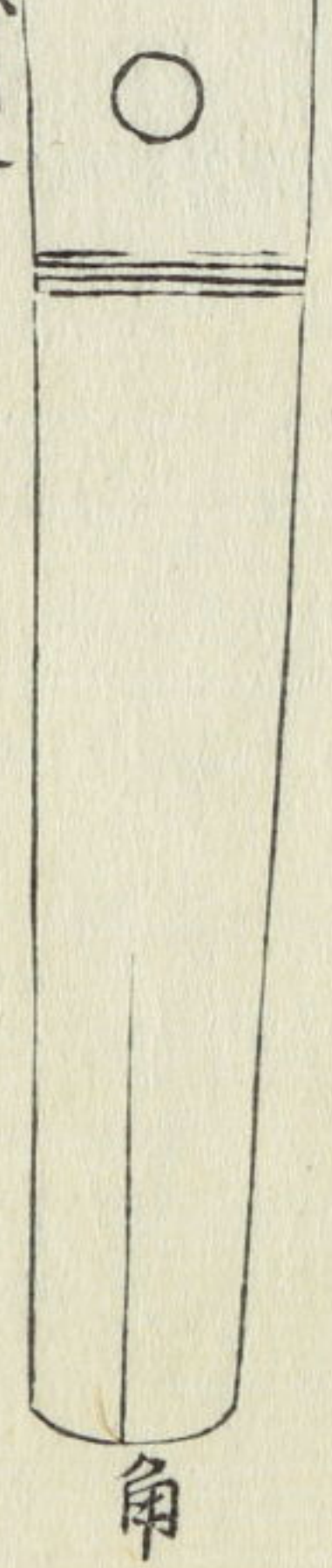
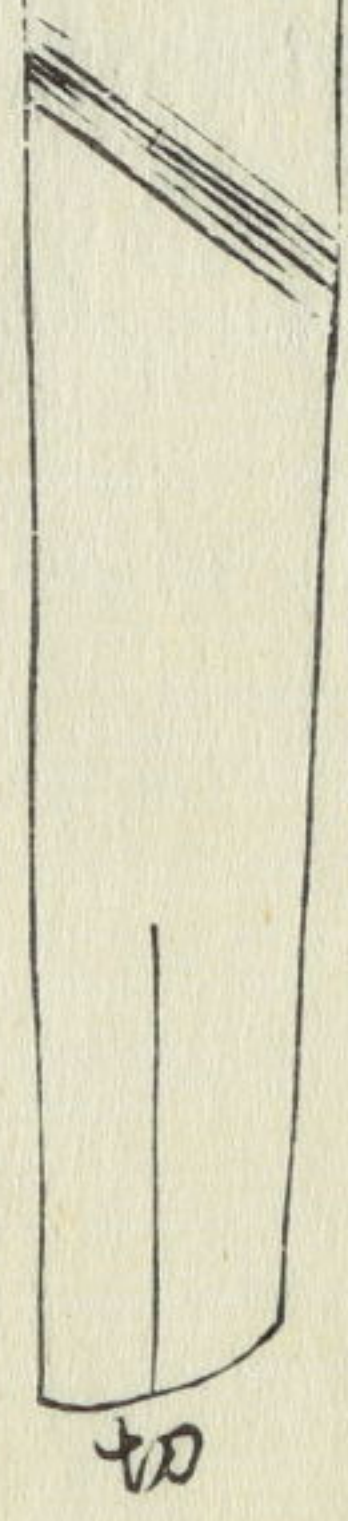
四組

角ニ大肉を新日

新作

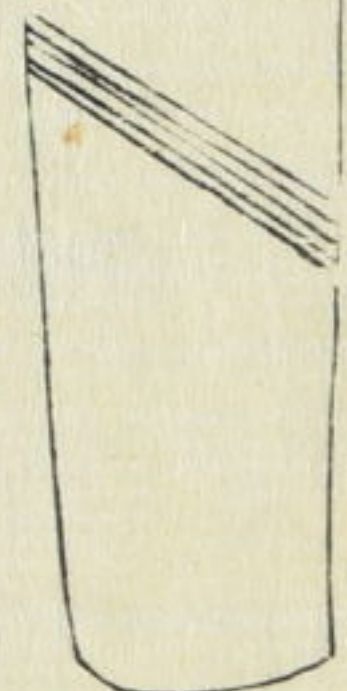
〇曲豆〇後國定鹿作

奥筋の徑を極く



新作之工

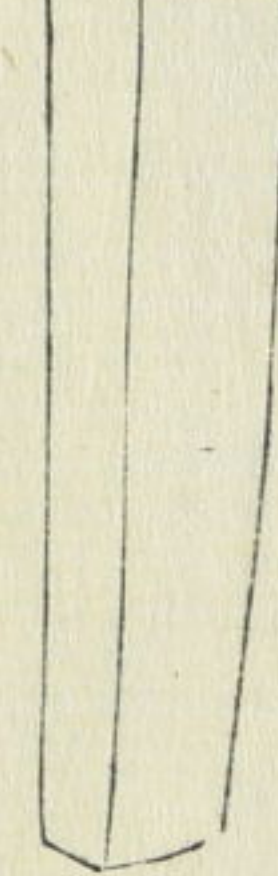
○曲豆○後国定度作



角

豊後国○僧定秀ニ

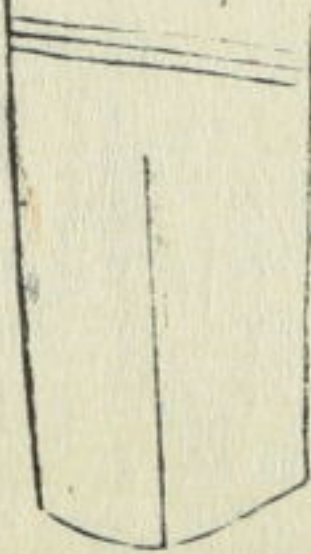
角ニメ肉あり作日定秀修しる



角ニメ肉あり作日

曲豆○守直大勅 角

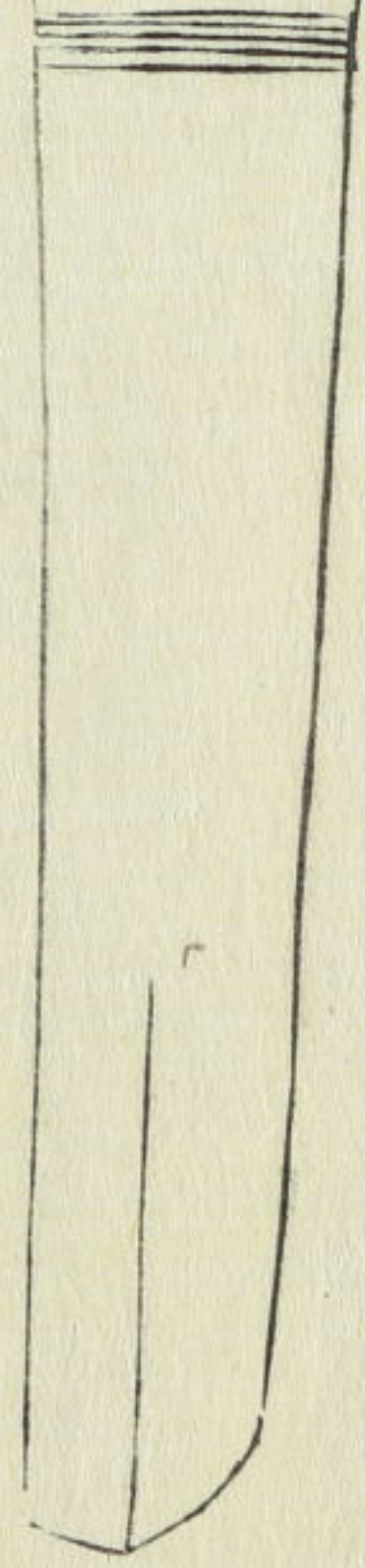
○曲豆○行平作



肥後物

肥後物

○四信○



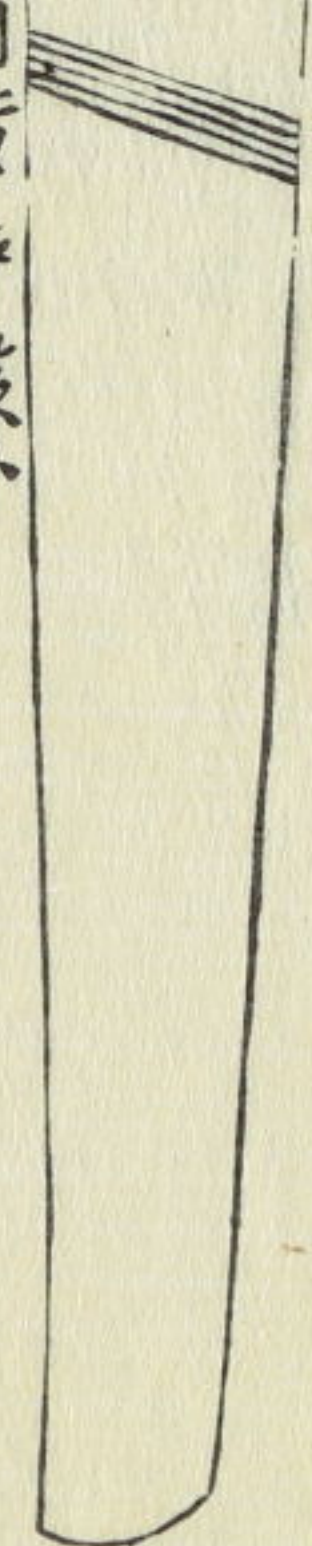
角ニメ肉あり作日

○月池仁○左衛門尉国經 角

角ニメ肉あり作日

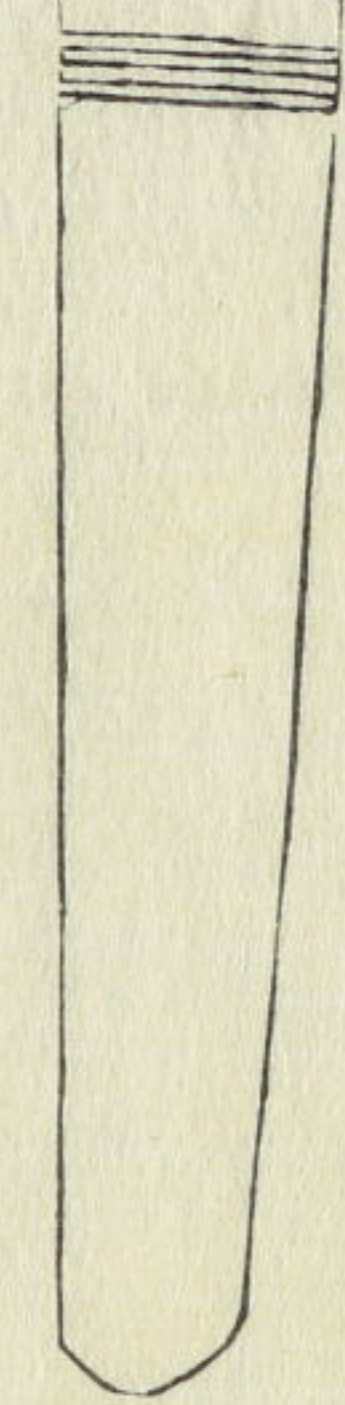
○国經作○

角ニメ肉あり作日

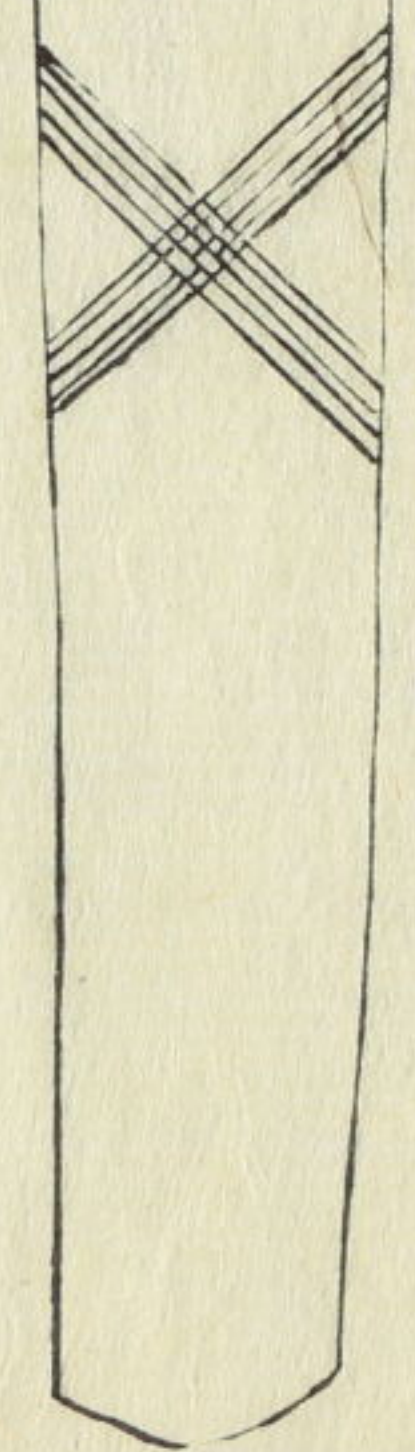


角

○包平○

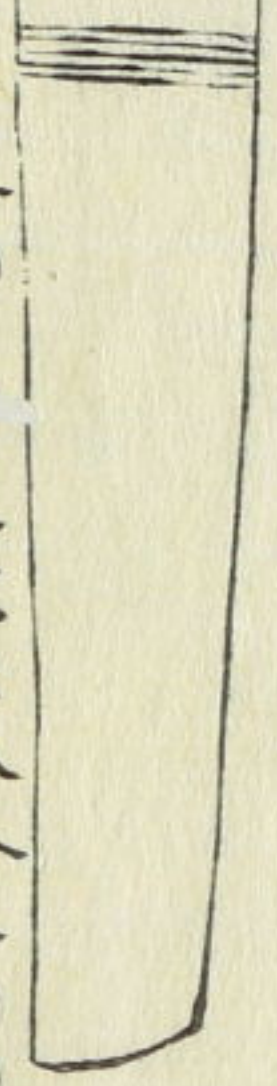


○行吉作



山○包手

角ニメ肉あり作日 山と云ふものより裏に八文字あり



肥州 南池 ○國時

角ニメ鉄白

肥州 菊池 ○國時作

角ニメ肉あり鉄模下

○○○國時

切

○國村

東國後之國の子は延秀と命と云若勝は八ノ子字を
打しと云

時未 ○○

角ニメ小肉あり鉄白

國吉 ○○

角ニメ小肉あり鉄模

葛池

延秀
ひと

國吉 ○

角ニメ鉄模下之ハ九枚あり

筑前物

國

ひと

筑州住私 ○老作

角ニメ鉄直達

安貞 ○阿

西蓮子又玄守等其阿也云

角ニメ鉄直達小肉あり

角ニメ鉄直達

筑州住 ○國方

延文元年十月日

嘉曆 ○二年十月日

安貞 阿作

角ニメ肉あり鉄白

ひと

ひと

實阿作

角

筑州○住源左

康永二年二月廿日

○竹州住左

角小肉之

角ノ肉あり後撰

安吉

角ノ肉あり後撰

角

左○應永十年二月廿日

了戒信光

切

了戒正能作

了戒

角ノ肉あり

了戒

角ノ肉之

了戒

入西○○○

永仁五年

角ノ肉あり後撰

盛高

角

源○盛高

角

了戒

了戒

了戒

了戒

空恒角ノ沙日 永徳年中此

○盛高 角

全後

薩摩物

角ノ沙日 摸下

○西蒲 角

境訪りて廿二日 此物より

親

波平安行 角

角ノ沙日

角ノ沙日

波平安家 角

角ノ沙日

波平安久 角

角ノ沙日

○波平安光 角

新作中

○陸州谷山波平草家安治郎 角

角ノ沙日 摸下

角ノ沙日 摸下

行仁 角

ひるふらやうにあり此実 又とわ尻実ハ正書と名を打尻実ともしわり
氣のハ沙日連勝ノ下ニ打之 宛者ハ目黄穴の上ニ打尻実ハ目黄穴の下也

○陸州谷山郡波平安光

角ノ沙日

元弘五年二月日

波平安伎 角

角ノ沙日 摸下

和正 角

角ノ沙日 摸下

毛より下に肉あり

えりて七分八分とる
やうにたてり組た

行仁

角ニメ肉あり新由連

新由上

波平女行 ○ 正和二年三月日

角ニメ新由連波平子後正和二年

○波平近女

江

薩州住人波平女行

角ニメ肉あり新由連

嘉平四年

南原敬原

○正國

つる貝

角

丹波

正國

角ニメ肉あり新由連下波平二日名ありとれそしめ

○國行

角ニメ肉あり新由

倍國

あきもち

ウんご

角ニメ肉あり

長門物

伊予

与州侯國吉

兼光

角ニメ新由

○山蓮

角

長州信○女吉

正和十年八月日

角ニメ新由下 中ふ物

豊豆刺○國住幸貞

角

正和二年二月日

い丹付心形像圍分之家家傳之雖為
秘書數年必涉紙心寫迹作此心之
之る愛之是の如件

長長指六 庚 三月十二日

萬治四年 辛 三月廿日

室町輕山町小嶋市島在橋門板行

